

『統計学研修』 研修会実施報告

日時 : 令和3年 6月19日(土) 09:00~17:00

対象者 : ラダーⅡを目指す者

参加者数 : 25名(卒後4年スタッフ11名、アドバイザー3名、病棟研究スタッフ11名)

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り看護の創造性を養うことができる

<講師の紹介>

畿央大学 健康科学部看護科学部看護医療学科
教授 福森貢先生

1983年 近畿大学工学部数物科卒業
日本制御機器株式会社でハード・ソフトウェアの
設計・開発

1999年 京都市立福知山市民病院附属
看護専門学校 非常勤講師

国立病院機構舞鶴医療センター附属
京都看護助産師専門学校 非常勤講師

2005年 畿央大学 専門: プログラミング・統計学・情報学

当院では2010年より看護研究の主に「統計学」の講師としてご指導を頂いています。



<内容>

福森先生が独自に作成された統計処理ソフトを用いて、正規分布や仮説検定など統計学の基礎知識について講義をして頂きました。様々な検定方法についても実際に例題を使用しながら分かりやすく指導して下さいました。また、研究グループそれぞれにアドバイスも頂きました。

研修参加者は今回の研修から得られた学びを活かし、今後具体的に分析方法を考えて看護研究を進めていくことができると思います。より良い看護の発展に繋がるような看護研究ができるよう期待しています。

